

あいかわらず
市民の安全・安心に
背を向けつづける他会派!



日本共産党 提出	他会派	日本共産党
中小企業の金融対策に関する意見書	×	○
賃上げと雇用拡大で景気回復を求める意見書	×	○

他会派 提出	他会派	日本共産党
TPP交渉参加に関する意見書	○	×
地方分権の推進を求める意見書	○	×

民主団体 提出		
年金2.5%削減の中止を求める請願	年金者組合	× 不採択
TPP交渉に参加しないことを求める意見書に関する請願	農民運動 石川県連合会	
特別養護老人ホーム建設等の陳情	入居者待機家族会	

市立病院の経営形態変更 地方公営企業法「全部適用」導入について



**利益優先の企業的手法導入は
公的役割・労働条件低下にならないか**

市立病院の新中期計画では、住民参加型の専門的で質の高い医療を掲げていますが、今回の全部適用への移行により、利益優先の企業的手法が導入され、市立病院の公的役割や労働条件の低下につながることを危惧致します。

**医療機器の選定・購入の
公正・透明性は確保できるのか**

機能強化とサービス向上のため、高額医療機器の購入も計画されていますが、今回の全部適用によって、病院事業管理者が人事・財務を掌握することになるため、公正・透明性を図り厳正な第三者のチェック体制が必要となります。住民の信頼に堪えるべく、医療従事者の方々が過重労働や経営管理主義に陥らないことを切望するものです。

市長 全部適用により、職員の経営意識や業務の迅速性、機動性向上が図られ、経営の効率化・健全化が進むと考えている。

市立病院事務局長 入札事務は病院で行うが、制度の検証は市の審査委員会で行う方針。病院収支や診療体制、職員採用、医療機器購入計画等も、外部評価の対象としており、透明性は保たれる。

公営ギャンブル場がスポーツ振興?!

場外車券
売場問題

大徳地区は、事実上開設不可能に!
市内誘致・妥協案を条件付で採択!



市長が2011年に同意文書!
共産党市議団は調査特別委員会設置を要望



採択の翌日、山野市長が開設に同意する文書に署名・押印していた問題が大きく報道されました。29日の全員協議会では「議会軽視だ」との批判が相次ぎ、共産党市議団は、市民と議会に真相を明らかにするよう申し入れを行い、調査特別委員会の設置を求めました。

大徳地区開設反対の採択は地域住民・町会・育友会など広範な住民運動による成果です。

2007年以来、「賛成」「反対」双方からの請願・陳情が繰り返されてきた、大徳地区の競輪場外車券売場(サテライト金沢)開設問題は、住民らの3740人分の署名が提出され、開設反対を求める陳情を賛成多数で採択しました。一方、妥協案として提出された、「自転車スポーツ振興のための大徳地区以外の市内での誘致を求める陳情」も、住民合意の条件付きで採択となりました。

		賛成	反対
大徳地区での開設に反対を求める陳情	○採択	24 日本共産党	10
自転車スポーツ振興のための金沢市内開設を求める陳情	○採択	31	8 日本共産党

大型公共事業優先でなく 市民の暮らしに根ざした 予算の使い道を!



新幹線開業を見据えた
呼び込み型の大型公共事業は
必要ありません。

安倍政権発足から3ヶ月。マスコミがもてはやす「アベノミクス」への期待は、消費税増税と社会保障大改革によって打ち砕かれます。歴代自民党政権による大型公共事業は、国民生活と関係のないアメリカ力いなのりのムダ使いであり、これを再び実行する安倍政権に、市長は追従姿勢を明らかにしました。これまでも金沢港建設、外環状道路、金沢駅西広場、海側幹線道路とセットの区画整理、森本IC工業団地などに巨額の予算を投入。そして37年前から53億をかけて進められ、今年終結した「駅武蔵北地区再開業」は、長年に渡ってテナントが埋まらず、国・県・市による巨額の負担をくり返した、まさに破綻と矛盾の象徴です。ここへ来て市長は、新幹線開業を見据えた、旧来の呼び込み型公共事業を繰り返そうとしています。一方で老人福祉センター等の、ささやかな高齢者バス回数券の支給をパッサリ廃止するという、市民に冷たい市政の姿が示されています。

高齢者が元気で出かけられる公共交通のために

気軽な料金のシルバーパス制度を作ってください!

元気で長生きすることを誰もが願っています。外に出かけ生きがいを持ち、仕事に趣味にがんばることは、介護予防としても大切なことであり、地方自治体の政策として公共交通のシルバーパスを発行する自治体が増えていきます。ぜひ、金沢市でも実施してほしいと、兼ねてから要望がありました。地域の方々、公衆浴場を守る会のみさんから、銭湯に行けるようバスの券を発行してほしいとの声があり、市当局と話し合ってきました。

金沢市は、昨年より70歳以上の高齢者にシルバーパス割引として、免許返納の方は1ヶ月7千円から5千円に、免許なしの方は6千円に割引する制度を実施していますが、一度に6千円もの負担は困難な方が大多数であり、「せめて市内3千円に、ワンコイン方式や回数券、キップ方式にしてほしい」との意見が寄せられています。また、清潔を保つ入浴や、健康管理のために病院に気軽に行きたい、趣味や健康体操などができるよう、まちなかの公共施設の解放や、何より「公共交通の利便性を図ってほしい」などの声は切実です。ぜひ、みなさんと一緒に、気軽な料金で市内バスを利用できるシルバーパスの発行を求めていきましょう!

「意見・ご要望をお聞かせください。」